

# J A 胎内市

## これまでの実践内容と成果

### 1. 農業者の所得増大と農業生産の拡大に向けた取り組み

#### ● 1等米比率の高位平準化

⇒土づくり資材の普及拡大などの取組を行いました。



#### ● 米の需要拡大

⇒こしいぶきや新之助などコシヒカリ以外の銘柄誘導を行い、主食用米の適正生産と多様な品揃えによる、胎内市産米の需要拡大に努めました。

#### ● 園芸生産の拡大

⇒中山間地において、切花など鳥獣害に遭わない品目の推進を行いました。

#### ● 選果場の整備

⇒生食人参の作付面積拡大に伴い、人参の選果機を更新しました。作業効率の向上により一層の作付面積拡大が図られています。



	29年度目標	29年度成果
担い手経営体の面積シェア (対水田面積)	58% (2,030ha)	63% (2,226ha)
毎月の担い手経営体への訪問回数	140件/3回	140件/2.1回
正組合員数の維持(累計)	3,100人以上	3,115人
園芸重点品目作付面積	85ha	103.5ha
人参販売数量(夏・秋冬・加工)	1,000t	1,390t
直売所販売高	9,500万円	8,900万円
1等米比率(以上)	95%	90.3%
コシヒカリ作付率(以下)	72%以下	73%
こだわり米取扱量	1,700t	1,420t

## 2. 地域の活性化に向けた取り組み

### ●秋の収穫感謝祭

⇒秋に収穫感謝祭を開催しました。組合員の方のみならず、地域の皆様にも参加して楽しんでいただきました。



### ●直売所を通じた農業と地域経済のパートナーづくり

⇒総合ポイント制度の有利性を遡及した加入促進により、ポイント会員は 412 名の増加、直売所の年間来店者数も前年比 4,728 の増加となりました。

### ●農業体験の支援

⇒胎内市管内の小学生に対して田植えや稲刈りなど農業体験の支援を JA 青年部や地区の農事組合法人と協力して行いました。



### ●米粉体験学習

⇒胎内型ツーリズム推進協議会から依頼を受け、食農教育の一環として JA 女性部による米粉を使ったピザやべえべえなど米粉料理を作る米粉体験学習を行っています。



	29年度目標	29年度成果
総合ポイント制度の拡大	5,600 名	6,059 名
准組合員の拡大（累計）	2,050 名	1,986 名

